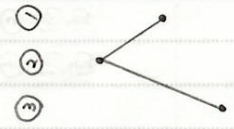


TITLE	夕オル	重松 清	P. 一八一三二	2
SUBTITLE	少年の気持ちの変化を読み取る	DATE		□□□

★ 気持ちの変化を知るためには

各場面での気持ちを把握し、それをつなげて考えてみる(図示できると良い)

(例) 場面 +5 0 -5



○ 「夕オル」の大きな場面(構成)

- ① 祖父の葬式の場面 P.21 P.22 P.23 P.24 P.25 P.26
- ② 「みち」お荘に向かう場面 P.27 P.28 P.29 P.30 P.31 P.32
- ③ 「みち」お荘内での場面 P.33 P.34 P.35 P.36 P.37 P.38
- ④ 家に帰ってからの場面 P.39 P.40 P.41 P.42 P.43 P.44

このように図示できると場面が通むにつれて気持ちが上がり下がりしているのが「見える」ようになる。

① 祖父の葬式の場面

主に「目前に祖父を亡くしてから」の少年やその周囲の様子が書かれている。

Q. P.21「涙が出てこない」「悲しいがどうかもはつきりしない」のは何故か?

↓ 家のどこにいればいいのかわからず、自分の居場所が見つからないから?

葬式の関係で自分の部屋がなくなったことや何としても父に会いたいと言われているところに注目しよう。

※ 右の解答の「?」の意味

本文には「自分の居場所が見つからないと、ゆっくり悲しむこともできないのかもしれない」とある。

⇐ 断定できることではなく、少年自身もその理由がわかっていない様子がわかる。

※ このように語尾など、よく読むことでわかることもある。

第一場面のまとめ

おじいちゃんが死んだことは悲しいことで泣くべきことなのはお頭ではわかっているが行動に出ない。それだけ少年もなやましい、寂しい心境でいる。